

MSCIの指数ソリ ューションで困 難な市場に立ち 向かう



本資料は
インタラクティブコンテンツです



目次

はじめに

指数



テクノロジー



データ



リサーチ



本資料はインタラクティブコンテンツです

はじめに

2023年年初、投資家はインフレと年後半の景気後退の可能性について懸念を抱いていました。しかし、予想に反して、インフレは弱まり、景気は底堅さを維持しました。金利は上昇したもののピークに達したと思われ、市場は2024年には金利が低下し始めると予想しています。

2024年に向けて、穏やかな経済成長とインフレ率の低下が見込まれています。しかし、2023年第4四半期に株式市場が強気相場を維持し、債券市場が回復したにもかかわらず、地政学的リスクとマクロ経済環境の不透明感は未だ払拭されていません。

弊社は引き続きお客様と緊密に連携しながら、投資目的を直接支援する強固なソリューションと充実したリサーチをお届けして参ります。

数字で見る MSCI



1,500超のMSCI指数に連動する株式および債券ETF¹



290,190以上の指数を日々算出²



14.9兆米ドルの運用資産額がMSCI指数をベンチマークに³



453名の研究専門家を擁し、うち**122名**が指数リサーチと商品の開発に専念⁴



419名以上の指数算出専任プロフェッショナル⁵

1 2023年9月30日現在

2 指数の数はバリエーション（変形指数）のレベルで算出、1バリエーション当たり1通貨を含めます。2023年11月30日時点のデータ。

3 運用資産額は、2023年9月30日までに報告された2023年6月30日現在の額で、運用中の機関投資家ファンドについてはイーベストメントのデータ、運用中の個人投資家向けファンドについてはモーニングスターのデータを使用。株式ETFの値は、RefinitivとMSCIのデータに基づきます。

4 2024年1月31日現在

5 2023年11月30日現在

不確実なマクロ環境 に立ち向かう



2023年に入り、コロナ禍後の回復期の市場で見られた状況を踏まえ、投資家にとってはインフレが主要な懸念事項となりました。MSCI**インフレ敏感指数**は、この課題に対処するためのツールとして、2023年に導入しました。この指数は、MKT MediaStatsが提供するインフレ感応度スコアを使用しています。MSCIリサーチは、インフレ感応度スコアを活用して、インフレ率上昇に対応できる仮想ポートフォリオの構築を模索しました。

MSCI**経済レジーム配分指数**は、投資家がマクロ経済サイクル（ゴルディロックス、低成長、スタグフレーション、過熱）を乗り切るための革新的な資産配分ツールを提供するために作られました：

- **経済レジームセクター配分指数**は、キャッシュとセクター指数間での配分を行っています。
- **経済レジーム資産配分指数**は、キャッシュ、国債、セクター指数間での配分を行っています。

4つの経済レジームとその計算には、QuantCubeのGDP成長率およびインフレ指標が使用されています。

これらの指数を活用することにより、投資家は個別的な目標に合わせて資産配分を調整し、全体的な投資戦略を向上させることができます。



気候アクションへの モメンタムを維持



MSCIは、投資家の気候変動への対応を後押しすることに継続的に取り組んでいきます。

お客様からのニーズにお応えして、2023年にはMSCIの低炭素化目標指数と脱化石燃料指数のラインアップを拡充しました。

さらに、米ドル建て投資適格社債とユーロ建て投資適格社債の気候アクション社債指数の提供開始とともに、固定利付債向けの気候アクションメソドロジーを導入したことで、さまざまな資産クラスで気候に関する考慮事項をポートフォリオに組み込むためのソリューションが投資家に提供されました。

同時に、多くの投資家が気候変動の問題に対する技術的ソリューションを求めています。これらのイノベーションを取り込み、広範な投資家層が利用しやすくするために立ち上げられた新たなテーマ別指数には、以下が含まれます。

- **水素および未来燃料指数**は、将来のエネルギー源とエネルギー効率化のための技術に特化した新製品とサービスの開発に関わる企業のパフォーマンスを反映させる狙いがあります。
- **エクストリーム・ウェザー・インダストリアル・ソリューション 指数**は、極端な暑さや寒さに対処するため日常生活で使われる製品とサービスに関わる企業のパフォーマンスを反映させる狙いがあります。



投資における 長期的な視点を維持



市場が変動し、先行きが不透明な局面では、長期的な視点を保つことが重要です。弊社のテーマ別指数のラインアップ拡充は、将来を予測し、徐々に変化するトレンドを重視する投資家の後押しをします。

人口が高齢化し寿命が延び、技術が急速に進展する中で、投資家はヘルス分野における機会を探しています。以下の3つの新たな指数ファミリーは、このような需要に対処する上で重要な役割を果たしています。



バイオテック先進指数は、幅広い疾病や障害の治療に関連する製品の研究、開発、商業化を行う一連の企業のパフォーマンスを反映することを狙いとしています。



ウイルス学指数の狙いは、感染症の治療に用いられる抗ウイルスおよびワクチン製品の研究、開発、および商品化に関わる一連の企業のパフォーマンスを反映することにあります。



免疫腫瘍学指数は、免疫腫瘍学として知られるがん免疫療法の研究、開発、および商品化に関わる一連の企業のパフォーマンスを反映させることを目指しています。

より多くの企業がデジタルチャネルを活用して製品のプロモーション、販売、さらにはカスタマイズを行う中で、サイバーセキュリティリスクへの対応とリスクの最小化が優先課題となっています。こうした長期的トレンドを捉えようとする投資家を支援する目的で、**スマートセキュリティ&ディフェンス指数**がローンチされ、サイバーセキュリティ、未来の防衛およびスマートボードャーの分野で新製品やサービスを開発する企業のパフォーマンスを反映させています。

コロナ後に脱グローバル化のトレンドが強まり、世界中の企業がサプライチェーンを再考し、それが物流および運用の観点で何を意味するのかを検討しています。このような中、企業が自社の物流戦略を管理するのに役立つ新たな商品やサービスが次々と登場しています。MSCIの**未来物流指数**は、物流バリューチェーンに特化した新製品とサービスの開発に関わる一連の企業のパフォーマンスを反映させる狙いがあります。



コアメソドロジーと商品の強化



グローバル市場のカバレッジを進化させ、向上させるための取り組みの一環として、MSCIの主力株式指数ファミリーにいくつかの改善を加えました。

包括的四半期リバランス頻度の導入

- 2023年2月の指数レビュー以降、MSCIは市場参加者との協議を経て、時価総額インデックスの四半期レビューに包括的スケジュールを導入しました。この変更は、市場参加者の声に耳を傾け、絶えず変化する市場により効果的に対応するという弊社のコミットメントを反映しています。
- この新たなリバランス頻度は、インデックスのレビュー変更や売買回転をより均等に分散させ、投資家の複製コストを抑えるために、個々の四半期ごとのリバランスの規模を縮小するように設計されています。

投資ユニバースの拡大

- 市場参加者からのフィードバックに基づき、MSCIはフロンティア市場向けのメソドロジーを強化し、カバレッジの制限、集中性、回転率に関連する問題に対処しました。
- バルト三国およびラトビア指数のローンチ。2023年8月の指数レビューから、MSCIは、エストニア、リトアニア、ラトビアを、指数構築を目的とする単一市場として扱っています。
- 弊社の投資ユニバースの拡大は、データ品質とカバレッジを高水準に維持しつつ、より広い投資機会を追い求める投資家を支援します。

2023年3月に、MSCIは、年2回のグローバル産業分類基準 (GICS®) レビューに従い、1年前に発表されていた変更を実施しました。最大の変更点は金融およびITセクターで、年後半には、これら変更点は、各国および地域にまたがるMSCIセクター指数に反映されました。



コアメソドロジーと商品の強化



弊社のコア指数は国際的な投資家を対象としていますが、国内投資家のニーズにも配慮しています。その一例が、新しい時価総額加重指数シリーズであるMSCIオーストラリア上場指数の導入です。オーストラリア証券取引所 (ASX) に上場している適格外国法人を組み入れたMSCIオーストラリア上場指数は、オーストラリア国内の投資可能ユニバースを包括的にカバーし、事実上オーストラリア経済の指標として機能することを目指しています。

弊社は、マルチアセットの投資機会を求められるお客様により良いサービスを提供するため、債券関連の商品提供においても引き続き大きな進展を遂げています。

国債の組入れ

MSCIの債券モジュールは、従来の投資適格債やハイイールド債のカバレッジに加えて、米ドル (USD) 建て、英ポンド (GBP) 建て、ユーロ (EUR) 建て、カナダドル (CAD) 建ての国債をカバーしています。

債券市場分類フレームワークのローンチ

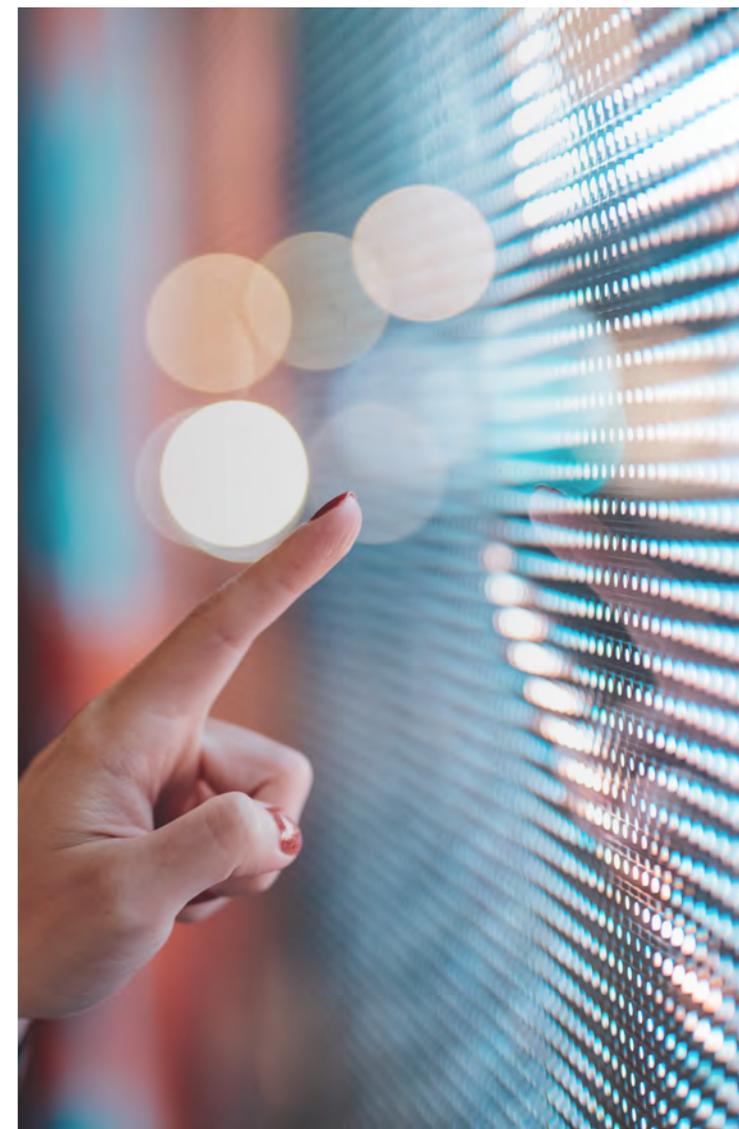
弊社の債券市場分類フレームワークは、長い歴史を持つ株式分類の伝統の上に築かれており、この資産クラスの特徴を取り入れています。このフレームワークは、今後長きにわたり、新指数をローンチする際の堅固な基礎となるでしょう。

債券属性ファイルの組み込み

指数の構成やエクスポージャーに対する理解を深めるために、国、地域、信用格付け、満期、セクター分類などの各アトリビューション項目に関するデータが追加されました。これにより、お客様はパフォーマンス要因分析やリスク管理のニーズに対処するとともに、トレーディングやヘッジの目的にもご利用いただけます。

MarketAxessと提携した債券トレーダブルボンド指数のラインアップ拡大

米ドル建てハイイールド債指数に加えて、3つの新しいMSCI MarketAxessトレーダブル社債指数が導入されました：米ドル建て投資適格債、ユーロ建て投資適格債、ユーロ建てハイイールド債。これらの指数は、流動性と多用途性を重視して設計されており、クレジット市場における複製およびヘッジ目的のための有益なツールとなっています。



新規 投資家ツール



弊社のMSCI Oneプラットフォームは成長を続け、新たなツールやMSCIのサービスを取り入れています。2023年には、新たな重要ツールが登場しました：



「クライアントアップロード」ツール：お客様が設計するカスタム指数の採用が進化するにつれ、投資家はニーズの変化を効果的に伝達する手段を必要としています。このツールにより、お客様が設計する指数に対する銘柄の追加と除外リストの検証が容易になります。

弊社は公開ウェブサイト上に、**投資家がMSCI指数にリンクするETP上場取引商品**を特定するのに役立つ新機能を追加しました。これには先物およびオプションも含まれており、MSCI指数に関連する金融商品の包括的なエコシステムの視点を提供します。

インフラの再活性化

弊社は、弊社の指数とデータを確実にお届けできるよう、インフラの改善に絶えず取り組んでいます。そのため、弊社は**GoogleおよびMicrosoftとの提携**の延長を発表し、さらなる柔軟性を得て、将来の成長に向けた堅固な基盤を築くことができるようにしました。

強化された基盤は、指数からデータ、さらにはソリューションやツールへと提供範囲が拡大する中で、弊社の活動を支える重要な役割を果たします。



データツールキット の拡充



MSCIの浮動株データ商品は、2023年初頭にローンチされ、銘柄レベルでの浮動株時価総額に関連したメトリクスに一層の透明性を与えます。

浮動株時価総額は、MSCI指数構築へのインプットの一つです。そのため、このデータ商品は、指数戦略と商品の運用に關与する投資チームに適しています。本資料により、この商品やそのデータ内容、そして投資家が自身の活動する市場をより深く理解する助けとなる方法について学ぶことができます。

お客様が規制報告要件にうまく対処できるよう、MSCIは指数モジュールに、**サステナブルファイナンス開示規則 (SFDR) およびEUベンチマーク規制 (BMR)** メトリクスをカバーする指数レベルの情報を追加しました：

- スタンダード時価総額加重指数、ファクター指数、ESG指数向けMSCI強化モジュール
- スタンダードESG指数および気候指数向けMSCI ESGモジュール
- スタンダード債券指数向けMSCI債券モジュール

本書には、カーボンフットプリントやグリーン収益など、ESGスコアから気候メトリクスに至るまでの詳細なトピックが記載されています。

エンゲージメントと資本配分は、ネットゼロ目標を追求する機関投資家にとって重要な手段です。弊社の最新の気候メトリクスイノベーションであるMSCI気候エンゲージメントツールキットは、お客様がエンゲージメントの対象となる優良企業を迅速に特定し、より効率的に働きかけることができるよう支援します。

気候アクション指数を含むESG指数や気候指数のライセンスをお持ちのお客様は、指数データの一部として追加費用なしで自動的に洞察をお受け取りいただけます。



リサーチによる 明瞭化

正確性と客観性に裏打ちされた弊社のタイムリーなリサーチインサイトは、投資家が自信を持って行動できるように設計されています。2023年には、約300件のリサーチペーパー、ブログ、ポッドキャストが発表され、市場テーマや投資家の課題に関連する幅広いトピックを採りあげました。

新興国市場（EM）シリーズは、このグループの国々がどのように、またなぜ投資家に対して潜在的なリターンを提供できる立場にあるのかを理解する助けとなることを目指しています。さらに、この新たな脱グローバル化の時代に、投資家の新興国市場配分がどのように進化するか、また市場間の商取引関係がどのように変わりつつあるかについても検討しています。

世界的に景気減速への懸念が生まれ始めている中、投資家はその先を見つめる必要があります。弊社の小型株リサーチが注目を集めています。弊社のリサーチは、特に景気後退期後や長期保有期間において、これまで小型株が大型株と比べてどのようなパフォーマンスを示してきたかを見てきました。

ポッドキャストは対象範囲を広げ、Investment Trends in Focus Quarterly Roundtableを含めるまでになりました。この新たなフォーラムは、機関投資家が今後進むべき最良の道筋を判断できるよう、MSCIの複数の専門家を集めて市場や市場を動かす出来事についてコメントを求めています。これは、長く続いてきたマーケット・イン・フォーカスを補完するもので、年間を通じて、米国債券が米国株よりも魅力的に見える理由やこれまで金利上昇が市場パフォーマンスに影響を与えた理由といったトピックをカバーしています。

MSCIの専門知識の深さと幅の広さは、弊社の年次機関投資家フォーラムがカバーするプレゼンテーションやトピックの範囲を見れば一目瞭然です。この年次フォーラムは、世界中の投資家を集め、戦術的および戦略的投資トピックに関するアイデアを交換する場となっています。





お問い合わせ

米州	
米国	+1 888 588 4567 (フリーダイヤル)
カナダ	+1 416 628 1007
ブラジル	+55 11 4040 7830
メキシコ	+52 81 1253 4020

アジア太平洋	
中国	北部: 10800 852 1032 (フリーダイヤル) 南部: 10800 152 1032 (フリーダイヤル)
香港	+852 2844 9333
インド	+91 22 6784 9160
マレーシア	1800818185 (toll free)
韓国	00798 8521 3392 (フリーダイヤル)
シンガポール	800 852 3749 (フリーダイヤル)
オーストラリア	+612 9033 9333
台湾	008 0112 7513 (フリーダイヤル)
タイ	0018 0015 6207 7181 (フリーダイヤル)
日本	+81 3 4579 0333

欧州、中東およびアフリカ	
南アフリカ	+27 21 673 0103
ドイツ	+49 69 133 859 00
スイス	+41 22 817 9400
英国	+44 20 7618 2222
イタリア	+39 025 849 0415
フランス	+33 17 6769 810

MSCIについて

MSCIは、世界の投資コミュニティ向けに重要な意思決定支援ツールとサービスを提供する大手プロバイダーです。リサーチ、データ、およびテクノロジーに関して50年以上にわたる専門知識を有するMSCIは、お客様がリスクとリターンの重要な決定要因を理解し、分析し、自信を持ってより効果的なポートフォリオを構築できるようにすることで、より優れた投資判断を支援します。MSCIは、業界トップクラスのリサーチに裏付けられたソリューションを生み出し、お客様はそれを用いて投資プロセスへの洞察を得て透明性を改善することができます。

詳しくは、弊社ウェブサイト www.msci.com をご覧ください

本書に記載される情報（「本情報」）は、MSCIの事前の書面による許可なしに、全部または一部を複製または配布することはできません。本情報は、他のデータを検証または訂正するために、何らかの二次的著作物を作成するために、指数、リスクモデル、分析を生成するため、または有価証券、ポートフォリオ、金融商品、その他投資ビークルの発行、後援、管理もしくは販売のために使用してはなりません。過去のデータおよび分析は、将来のパフォーマンス、分析、予想もしくは予測の提示または保証と捉えるべきではありません。MSCI ESGリサーチは、1940年投資顧問法に基づく登録投資顧問会社であり、MSCI Inc.の子会社であるMSCI ESG Research LLCが提供しています。MSCI ESG指数またはその他の商品に使用される資料を含め、MSCI ESGリサーチの資料は、米国証券取引委員会またはその他の規制団体に提出されたことはなく、承認も得ていません。

本書に記載される情報（「本情報」）は、MSCIの事前の書面による許可なしに、全部または一部を複製または配布することはできません。本情報は、他のデータを検証または訂正するために、指数、リスクモデル、分析を生成するため、または有価証券、ポートフォリオ、金融商品、その他投資ビークルの発行、後援、管理もしくは販売のために使用してはなりません。過去のデータおよび分析は、将来のパフォーマンス、分析、予想もしくは予測の提示または保証と捉えるべきではありません。本情報、MSCI指数、他の商品またはサービスのいずれも、有価証券、金融商品またはトレーディング戦略の売買の募集、販売促進または推奨を構成するものではありません。また、本情報またはいかなるMSCI指数も、何らかの投資判断を行うための（または行うのを控えるための）投資助言または推奨を構成するものではなく、そのようなものとして依拠してはなりません。本情報は、「現状有り姿」で提供され、本情報の利用者は情報の利用または利用を許可することによる全てのリスクを負うものとします。MSCI Inc.、もしくはその子会社またはその直接か間接のサプライヤーもしくは本情報の作成・編集に関わったいずれかのサードパーティ（それぞれ「MSCI当事者」）は、いかなる表明も保証もしません。また、各MSCI当事者は、法律で認められる最大限まで、商品性や特定目的への適合性の保証を含め、あらゆる暗示的な保証を明示的に否認します。上記のいずれをも制限することなく、また法律によって認められる最大限まで、いかなる場合も、いずれのMSCI当事者も、直接、間接、特別的、懲罰的、派生的（逸失利益を含む）、またはその他の損害について、かかる損害の可能性が通知されていたとしても、一切の責任を負いません。上記は、適用法によって除外または制限が認められない責任を除外または制限するものではありません。個人情報保護について：MSCIが個人情報をどのように収集し使用するかについて詳しくは、弊社の個人情報保護方針 (<https://www.msci.com/privacy-pledge>) をご覧ください。

指数に対する苦情を正式に提出するプロセスについては、MSCIのウェブサイト (<https://www.msci.com/index-regulation>) の指数規制ページから入手いただけます。